

プロフィール



腰塚 勇人

こしづか はやと

1965 年、神奈川県生まれ

元・中学校体育教師

元・養護学校教師

大学卒業後、「天職」と思えた中学校の体育教師になる。学級担任、バスケット部顧問として「熱血指導」の日々を送る。

2002 年 3 月 1 日、人生を大きく変える事故が起こる。

スキーでの転倒で「首の骨」を折り、奇跡的に命は取り止めたものの、首から下がまったく動かなくなる。当時、医師からは「一生、寝たきりか、よくて車イスの宣告」を受け、あまりの絶望に「自殺未遂」をする。

その後、妻、両親、主治医、看護師、生徒たち、職場の同僚などの応援と励ましを受け、「自分の命があらゆるものに助けられ、生かされていること」に気づき、「笑顔」と「感謝」と「周りの人々の幸せを願う」ことにより、奇跡的な回復力を発揮する。そして、「下半身と右半身の麻痺」など、身体に障害を残しながらも、4 カ月で現場に復帰し、中学 3 年生の担任を務める。主治医からは「首の骨を折って、ここまで回復した人は、治療した中では、腰塚さんだけだ」と言われるほどの「奇跡の復活」を遂げる。

その体験を「命の授業」として 6 分ほどの「ムービー（動画）」にして公開したところ、30 万人の人々の目にふれることとなる。

2010 年 3 月に、「命の授業」の活動に専念するため、22 年間務めた教員を辞職。

現在「命の授業」の講演家として、自らの経験を元に、「命の尊さ」「生きていることの素晴らしさ」「その人自身の大切さ」などを、全国の小学校、中学校、高校、そして一般の方々に伝える活動をしている。全国から数多くの「講演」依頼があり、講演の参加者は、開始から 3 年間で 18 万人以上にのぼる。